

東北の国有林

令和6年度 東北森林管理局の取組



八甲田山
(青森県)



岩手山
(岩手県)



桑ノ木台湿原
(秋田県)



栗駒山
(宮城県)



オツボ峰から
大鳥池を望む
(山形県)



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局

目 次

I 東北森林管理局について

1 沿革	1
2 組織	2
3 東北の国有林	3

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営	4
(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化	4
(3) 適正な伐採と再造林の確保	4
(4) 針広混交林等の森林づくり	5
(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化	10

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換	12
(2) 林業従事者の安全の確保	14
(3) 長期・持続的な林業経営体の育成	14

3 木材産業の国際+地場競争力の強化

4 都市等における「第2の森林」づくり

5 新たな山村価値の創造

6 その他の取組

III 令和6年度の取組

1 主要事業量

(1) 東北森林管理局計	22
(2) 県別内訳	23

2 県別重点取組

(1) 青森県における東北森林管理局の重点取組	24
(2) 岩手県における東北森林管理局の重点取組	26
(3) 宮城県における東北森林管理局の重点取組	28
(4) 秋田県における東北森林管理局の重点取組	30
(5) 山形県における東北森林管理局の重点取組	32

I 東北森林管理局について

1 沿革

国有林は明治維新の際に藩有林、社寺有林、所有不明林を継承して成立しました。局管内には、日本三大美林の青森ヒバ林、秋田スギ林が分布しており、針葉樹林と広葉樹林が広がっています。国有林では、これまで一世紀半、何世代にも渡り、森林づくりを続けてきました。



秋田杉子造材之図・伐木の図

1867年
(慶応3年)

大政奉還

1869年
(明治2年)

版籍奉還により、藩有林の多くは官林となる

1874年
(明治7年)

地租改正の一環として定められた「山林原野等官民有区分処理法」により、森林の所有者を明確にするための「官民有区分」開始

1878年
(明治11年)

内務省地理局 秋田出張所 同 青森出張所

1879年
(明治12年)

内務省山林局 秋田出張所 同 青森出張所

1881年
(明治14年)

農商務省 秋田山林事務所 同 青森山林事務所

1886年
(明治19年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署

1888年
(明治21年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署

1889年～
(明治22年)

一部、御料局へ移管（宮城は御料地に編入）
(うち青森、岩手の一部は陸軍省へ)

1893年
(明治26年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
明治27年 保安林取扱心得発令 ※宮城へ統合
明治30年 森林法制定

1897年
(明治30年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
※青森へ統合

1903年
(明治36年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署 同 宮城大林区署 同 岩手大林区署
※宮城を青森、山形を秋田へ統合

1913年
(大正2年)

農商務省 秋田大林区署 同 青森大林区署
大正4年 保護林の設定

1924年
(大正13年)

農商務省 秋田営林局 同 青森営林局

1947年
(昭和22年)

林政統一 農林省林野局が一元的に所管

農林省林野局 秋田営林局（秋田、山形） 同 青森営林局（青森、岩手、宮城）

昭和26年 国有林野法制定
昭和39年 林業基本法制定

1978年
(昭和53年)

農林水産省林野庁 秋田営林局 同 青森営林局

1999年
(平成11年)

東北森林管理局 同 青森分局

平成11年 国有林野法改正（名称を国有林野管理経営法へ変更）

2004年
(平成16年)

東北森林管理局（青森事務所）

平成24年 国有林野管理経営法改正 平成30年 森林経営管理法制定 平成31年 森林環境税法制定 令和元年 国有林野管理経営法改正

令和2年 森林組合法改正 令和3年 公共建築物木材利用促進法改正(通称：都市の木造化推進法)



秋田大林区署



青森大林区署



秋田営林局
明治33年竣工



青森営林局
明治41年竣工（現在は博物館）

2 組織

林野庁

東北森林管理局

総務企画部

総務課

広報、研修、文書管理、職員の人事、給与、手当災害補償、健康安全、公務員宿舎、林野庁共済組合

企画調整課

企画、地方自治体等との連絡調整、局内の予算調整、業務の会計監査、事務改善、PC等システムの管理

経理課

経費及び収入の予算・決算、会計、債権管理、物品の調達・管理、役務の調達、庁舎の営繕、防火管理

計画保全部

計画課

森林計画の策定、野生動植物の保護管理、保護林、生物多様性の保全、管内各種図面の調製・保管等

保全課

国有財産の管理、処分、境界の保全、森林病虫獣害対策、官行造林契約、地域振興等を目的とした貸付等

治山課

保安林、森林治水事業（荒廃山地の復旧・予防対策等）、林野の保全に係る地すべり防止に関する事業

森林生態系保全センター
(津軽白神、藤里、朝日庄内)

森林生態系保護地域の保全管理、自然再生活動、森林環境教育、各種団体と連携した取組、情報発信等

森林整備部

森林整備課

国有林野の造林、林道の開設・改良その他の森林の整備、分収造林及び分収育林

資源活用課

持続的かつ計画的な供給のための国有林材の生産・販売やそのための調査、木材情報の受発信等

技術普及課

森林・林業に関する知識の普及、技術開発、自然再生及び民有林と連携した取組

森林技術・支援センター

国有林野を活用した試験地調査、研究機関と連携した取組、研修及び検討会の企画運営

青森事務所

青森・岩手・宮城の3県における、地元関係者との連絡調整や森林管理署への技術指導等

森林管理署・支署(24)

総務グループ

[福利厚生、経理、森林利用、財産管理]

業務グループ

[国有林野の森林整備、林産物の収穫・販売、林道、経営計画、森林環境教育]

治山グループ

[治山、保安林管理]

森林事務所(168)

担当する国有林野の管理と各種事業の調査、監督、検査等

治山事業所(6)

森林管理署等と分担した、担当区域の治山事業（山地災害の防止、復旧等）

3 東北の国有林

- 青森県、岩手県、宮城県、秋田県及び山形県の5県にまたがる国有林野を管理経営5県の県土面積532万haのうち、国有林の面積は約31%に当たる165万ha
- 青森ヒバの天然林が津軽・下北半島を中心に、秋田杉の天然林が秋田県北部を中心に分布し、ブナ・ミズナラなどの天然広葉樹林は奥地脊梁山地などに広く分布
- 人工林の植林や間伐などの森林整備、スギ・カラマツ等の木材供給を通じた木材産業支援等で地域振興に貢献



白神山地のブナ林（米代西部署）



青森ヒバ天然林（青森署）



カラマツ人工林（三陸北部署）



秋田杉天然林（上小阿仁支署）



海岸防災林（仙台署）



蔵王地域の樹氷（山形署）

〈森林資源の状況〉

区分	県土面積 (千ha) (A)	森林面積 (千ha)		森林率※ (%)		国有林の林種別面積 (千ha)		
		(B)	うち国有林 (C)	(B)/(A) × 100	うち国有林 (C)/(A) × 100	人工林	天然林	その他
青森県	965	633	391	66%	41%	132	239	20
岩手県	1,528	1,169	384	77%	25%	155	198	31
宮城県	728	414	126	57%	17%	44	73	9
秋田県	1,164	839	390	72%	34%	149	220	22
山形県	932	669	353	72%	38%	60	266	27
計	5,316	3,724	1,645	70%	31%	540	996	109

区分	国有林の樹種別蓄積 (千m³)							
	スギ	カラマツ	ヒバ	アカマツ	その他N	ブナ	ナラ類	その他L
青森県	20,653	2,295	13,318	2,342	1,415	16,129	2,052	16,454
岩手県	10,392	9,508	681	7,913	1,677	10,716	3,148	18,669
宮城県	4,925	1,101	47	2,580	448	6,325	479	6,406
秋田県	32,731	2,205	360	651	1,434	14,543	1,584	14,287
山形県	13,123	1,202	75	467	805	12,839	1,890	11,484
計	81,824	16,312	14,481	13,953	5,779	60,551	9,153	67,300

出典：県土面積は、国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（10月1日時点）」
 国有林面積及び民有林面積は、林野庁「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」
 国有林の蓄積は、東北森林管理局「令和5年事業統計書（令和4年度版）」

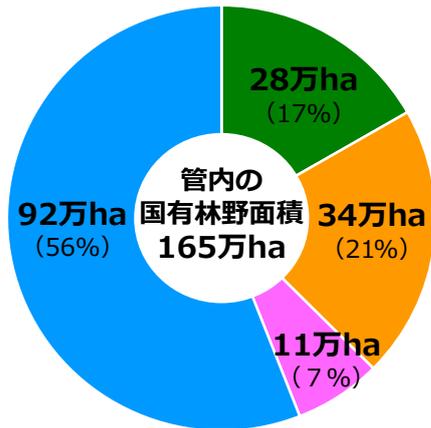
本表における国有林は林野庁所管のみを計上
 ※：県土面積に対する森林の割合

II 事業内容

1 森林資源の適正な管理・利用

(1) 重視すべき機能に応じた管理経営

森林づくりに当たっては、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの多様な要請に適切に対応するため、個々の国有林を重点的に発揮させるべき機能によってタイプ別に区分し、管理経営の主目的を明確化した上で、**それぞれの機能が十分発揮されるよう適切な施業を推進**します。



■ 山地災害防止タイプ

山崩れなどの山地災害を防止する機能を重視

■ 自然維持タイプ

森林生態系の保全や貴重な野生動植物の保護など自然環境を保全する機能を重視

■ 森林空間利用タイプ

レクリエーションなど森林とのふれあいの場を提供する機能を重視

■ 水源涵養タイプ

良質で豊かな水を供給する機能を重視

出典：東北森林管理局「令和5年事業統計書（令和4年度版）」

(2) 間伐・再造林による森林吸収量の確保強化

地球温暖化防止には、森林整備や木材利用等による森林吸収源対策が重要です。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、**適切な間伐等の実施、天然生林等の適切な管理・保全**などに取り組みます。また、中長期的な森林吸収量の確保・強化を図るため、間伐等特措法に基づく新たな措置を活用し、成長や材質に優れた**エリートツリー等の再造林を促進**します。



エリートツリー
(成長や材質に優れた苗木)

(3) 適正な伐採と再造林の確保

◆ 森林資源の循環利用

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、利用期に達した森林を自然環境に配慮しながら適切に伐採するとともに、確実な更新を行うことで、豊富な森林資源を「**伐って、使って、植えて、育てる**」という形での循環利用を推進します。

また、これらの取組を効率的に進めるため、**現地に即した林道等の路網整備**も進めます。



◆林地保全に配慮した施業

民有林の模範となるよう、とりわけ山地災害リスク軽減に向けて、これまで以上に**きめ細やかに林地保全に配慮した施業**に取り組みます。具体的には、森林整備や木材の集材・搬出のために利用する森林作業道について、土砂の流出又は林地崩壊を招かないよう、**事業体と共にチェック体制を定着させ、森林作業道作設指針に沿って定めた特記仕様書等に基づく作設**に取り組みます。



森林作業道（イメージ）

（４）針広混交林等の森林づくり

◆多様な森林づくり

森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、スギ花粉発生源対策等にも配慮しながら、現地の状況に応じた**多様で健全な森林への誘導**を推進します。

林齢や樹種の違う複層状態の森林の整備（**複層林化**）、針葉樹と広葉樹の混交を促進する施業（**針広混交林化**）等に取り組みます。



林齢や樹種の違う複層状態の森林の整備（複層林化）



針葉樹と広葉樹の混交した森林（針広混交林化）

【スギ花粉発生源対策の推進】

県が設定する「スギ人工林伐採重点区域」に存する国有林「重点区域に準じた国有林」において、伐採・植替えの効果的・集中的な実施に取り組みます。

国土保全、木材需給等に配慮しつつ、計画的に伐採・植替えを進めるものとし、植付は、原則、花粉の少ない苗木（無花粉苗木、少花粉苗木、低花粉苗木及び特定苗木）又はスギ以外の苗木を使用するとともに、使用する苗木については指定採取場所・品種を確認し素性が確かな苗木を植付するなど、スギ花粉発生源対策に取り組みます。



花粉対策苗（イメージ）

○花粉の少ない苗木の使用本数、面積

区分	R5実績見込み	R6予定	前年度比(%)
使用本数(千本)	372	852	229%
面積(ha)	180	413	229%

※スギ花粉発生源対策として、「重点区域に準じた国有林」を中心に花粉の少ない苗木の植栽を拡大。

このほか、「重点区域に準じた国有林」においてカラマツへの樹種転換で19.5千本、7.5haを植栽予定。

◆青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクト

国有林では、現存する青森ヒバ天然林の美林及び秋田スギ天然林の美林は、保護林、レクリエーションの森として、維持・保護にこれまで努めてきましたが、自然災害等により、その姿が失われたり、変わったりしてしまう可能性があります。

そこで、観光産業や木材産業への貢献も視野に入れ、現在青森ヒバ及び秋田スギの美林に準じた林分に手を加えて、三大美林の概念が形成された明治後期の美林の林況を満たせるよう誘導して、美林を増やすことについて検討・試行を実施します。

■青森ヒバ美林への誘導

令和5年度は、美林の条件である「①津軽半島に位置する、②樹齢100年以上、③胸高直径34cm以上、樹高20m以上、④純林（混交率95%以上）、⑤密度が高く見渡す限り林立、⑥昼なお暗し」の6条件に近い3箇所の林分を美林誘導林分を選定しました。

**青森ヒバ美林誘導林分
(R5 新規)**
青森県五所川原市 3箇所

令和6年度も引き続き美林誘導林分の掘り起こしに取り組んでまいります。
また、令和6年度は美林誘導対象林分である飯詰山ヒバ美林誘導モデル林において美林誘導に向けてヒバの成長を促す施業を試行します。



青森ヒバ美林への誘導イメージ



青森ヒバ美林誘導林分
(金木支署：青森県五所川原市)

青森ヒバ美林
(青森署：青森県青森市)

■秋田スギ美林への誘導

令和5年度は、美林の条件である「①米代川流域に位置する、②林齢150年生以上、③胸高直径54cm、樹高33m以上、④枝下が長く、樹幹が通直、⑤純林（混交率95%以上）、⑥成長良好、⑦林内が暗い」の7条件に近い5箇所の林分を美林誘導林分を選定しました。

**秋田スギ美林誘導林分
(R5 新規)**
秋田県北秋田市 2箇所
秋田県上小阿仁村 1箇所
秋田県能代市 2箇所

令和6年度も引き続き美林誘導林分の掘り起こしに取り組んでまいります。

また、秋田スギ美林誘導林分の中から美林誘導モデル林を選定します。



秋田スギ美林への誘導イメージ



秋田スギ美林誘導林分
(米代東部署：秋田県北秋田市)

秋田スギ美林
(米代西部署：秋田県能代市)

◆生物多様性の保全

森林生態系は野生動植物の生息・生育の場や種・遺伝子の保管庫として、生物多様性の保全にとって最も重要な位置を占めています。東北森林管理局では、様々な林齢からなる多様な森林生態系の保全に取り組んでいます。

■保護林

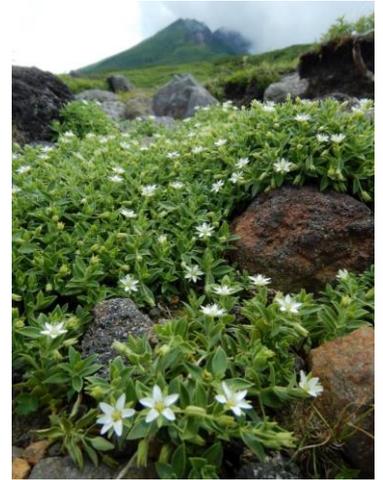
大正4年（1915年）に発足した保護林制度では、国有林野内の**森林生態系や希少な野生動植物を将来にわたって保護・管理**していくため、「森林生態系保護地域」、「生物群集保護林」、「希少個体群保護林」を設定し、適切な保全に取り組んでいます。

森林生態系保護地域 【8箇所 119,600ha】
気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理

生物群集保護林 【16箇所 77,721ha】
地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理

希少個体群保護林 【71箇所 2,293ha】
希少な野生動植物の生息・生育に必要な森林を保護・管理

(R5.4.1時点)



鳥海山生物群集保護林：
チョウカイフスマと七高山
(庄内署)



早池峰山周辺森林生態系保護地域：
生息する高山蝶・ベニヒカゲ
(三陸北部署、遠野支署)



漆沢岳外山オニグルミ遺伝資源
希少個体群保護林
(宮城北部署)

■緑の回廊

動植物の個体群の交流を促進して、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、**保護林を連結してネットワークを形成**する「緑の回廊」を設定しています。

東北森林管理局では、全国に先駆けて平成12年度からこれまでに5箇所設定しており、総延長約900km、面積約18万haとなっています。

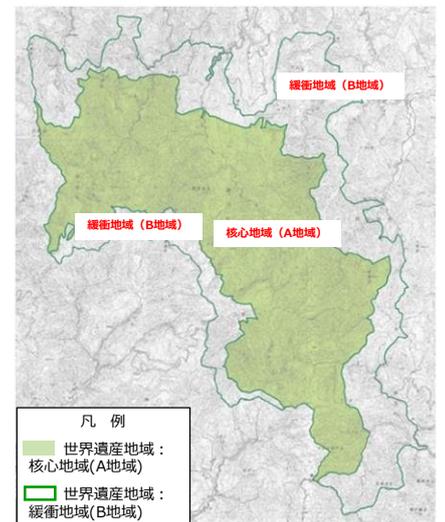
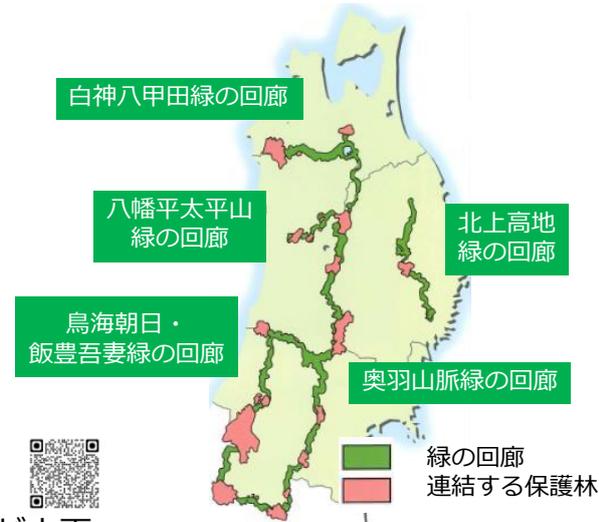
■世界自然遺産 白神山地 [白神山地観光情報館](#)の詳細はこちら



白神山地の国有林は、ブナを中心とする冷温帯落葉広葉樹が大面積に分布し、雄大な山岳景観とともに、そこに生息・生育する動植物がとても豊富です。きわめて貴重な天然林であるため、森林生態系保護地域に指定しており、平成5年には世界自然遺産に登録され、地域内は、**人手を加えずに自然の推移に委ねる「核心地域」と、必要に応じ一定の行為を規制する「緩衝地域」**に区分されています。核心地域は、指定ルートでの登山や学術研究などの場合を除き、入林を制限しており、入林の際には手続きが必要です。

また、令和5年12月には登録30周年を迎え、東北森林管理局ではHPサイト（白神山地観光情報館）を新設しました。

世界自然遺産地域の多様な動植物の保護のため、周辺地域において地方自治体、NPO団体等と連携を図りながら、密漁やゴミの不法投棄などを監視するための**パトロール**や、**森林の適切な管理**等に取り組んでいます。



◆ 病虫獣害対策等

■ ナラ枯れ被害対策

被害の拡大を防止するため、**被害発生状況の的確な把握と関係者との情報共有**、重点的・効果的な防除対策に取り組みます。伐倒くん蒸や樹幹注入など従来から実施してきた防除事業のほか、**「おとり丸太法」**についても取り組みます。



ドローンを活用したナラ枯れ被害確認
(金木支署：青森県中泊町)



予防薬剤の樹幹注入
(湯沢支署：秋田県東成瀬村)



おとり丸太によるカシノナガキクイムシ誘引
(津軽署：青森県深浦町)

■ 松くい虫被害対策

日常的な巡視により被害を把握し、被害木の処理、保護林・公園等の貴重な松を守るための**予防薬剤の樹幹注入**、海岸のクロマツ林を保護するための**予防薬剤の地上散布**を実施します。



松くい虫被害木の伐倒駆除
(遠野支署：岩手県花巻市)



予防薬剤の樹幹注入
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



予防薬剤の地上散布
(由利署：秋田県由利本庄市)

【蔵王地域のオオシラビソ林の再生】

平成25年秋以降、宮城・山形両県にまたがる蔵王地域の広範囲で発生した虫（トウヒツツリヒメハマキ、トドマツノキクイムシ）の被害によるオオシラビソの枯損については、令和5年に森林総合研究所東北支所が行った虫の調査結果から、被害拡大は起こりにくく、収束している状況にあると判断されています。

東北森林管理局では、山形県が進める**「樹氷復活県民会議」**と密接に連携し、自生稚樹の移植など蔵王地域のオオシラビソ林の再生に向けた取組を実施していきます。



樹氷復活県民会議の様子
(山形署：山形県山形市)



県民会議主催の事業による自生稚樹移植
(山形署：山形県山形市)



地元小中学生による自生稚樹の移植
(山形署：山形県山形市)

■ニホンジカ被害対策

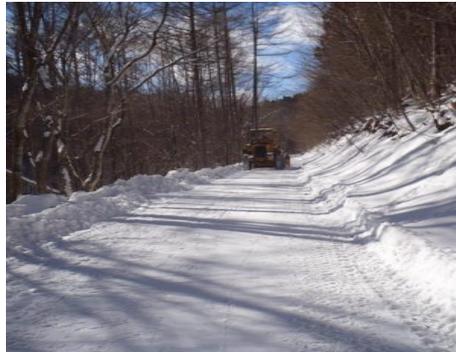
委託による捕獲事業、自治体等とのニホンジカ被害対策協定、協定に基づく捕獲支援のための林道除雪を行うなど、地域と連携したシカ捕獲を実施します。

また、専門家と連携して、**白神山地周辺**ではセンサーカメラや食痕等に付着したDNAを利用した**生息状況の把握や捕獲に向けた調査**、**早池峰地域**では貴重な高山植物を守るための**植生保護柵の設置、生息状況等調査**を実施します。

自治体等へのわな貸出数
R5 : 714
→ R6 : 693



くくりワナに掛かったニホンジカ
(遠野支署：岩手県花巻市)



捕獲支援のための林道除雪
(遠野支署：岩手県遠野市)



早池峰山での植生保護柵の設置
(三陸北部署：岩手県宮古市)

■ツキノワグマによる剥皮被害対策

関係者と連携し、**被害発生状況の的確な把握と情報共有**、効果的な**防除対策**に取り組みます。

被害防除対策の実施
R5 : 13.52ha
→ R6 : 18.83ha



ツキノワグマによる剥皮の様子
(置賜署：山形県小国町)



県・市町・森林組合を対象とした研修
(置賜署：山形県小国町)



クマ剥ぎ被害対策検討会
(置賜署：山形県飯豊町)

■地域住民や関係各機関との連携

森林ボランティアや市町村等と連携して、**遊歩道の環境整備**や**不法投棄物クリーン活動**等に取り組みます。また、**林野火災や不法投棄防止のための合同パトロール**等に取り組みます。



市との不法投棄防止一斉パトロール
及びクリーン活動
(遠野支署：岩手県遠野市)



五月女苑（十三湖）クリーン作戦
(金木支署：青森県五所川原市)



秋田十和田湖クリーンアップ大作戦
(米代東部署：秋田県小坂町)

(5) 森林整備・治山対策による国土強靱化

◆ 森林整備による多面的機能の維持・増進

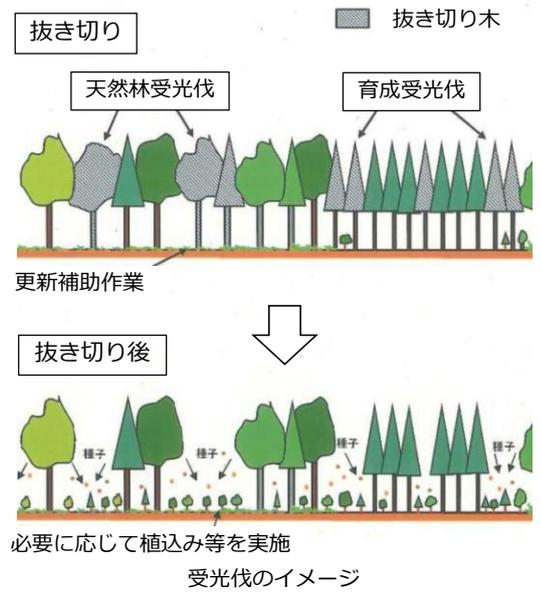
水源涵養機能、山地災害防止機能等、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、間伐や受光伐等の適切な森林整備に取り組みます。



保護伐
(モザイク状の伐採による面的複層林)



保育間伐活用型(列状間伐)



必要に応じて植込み等を実施
受光伐のイメージ

保護伐：針葉樹と広葉樹が混交した保護樹帯の整備やモザイク状の森林への誘導のための伐採

保育間伐活用型：森林のもつ公益的機能を高度に発揮させるため、密度調整の伐採を行うとともに、伐倒木を造材・集材・巻立し資源を有効利用

受光伐：天然力の活用等により広葉樹等を導入するための主伐及び下層木の育成のため光環境の改善と生育空間の確保を目的に行う間伐。

◆ 治山対策による山地防災力の強化

■ 荒廃林地の復旧整備

近年多発している台風、集中豪雨等により、山地災害が発生した場合、**迅速に現況調査を行い、応急対策及び災害復旧対策**を実施します。また、東日本大震災により被災した海岸防災林について、適切な時期に本数調整伐等を実施し、健全な林分の育成に取り組みます。



大雨災害時の応急対策として
大型土のうを設置
(岩手南部署：岩手県奥州市)



令和3年台風9号による災害の復旧状況
(下北署：青森県風間浦村)



海岸防災林の育成・下刈
(仙台署：宮城県仙台市)

■ 災害発生危険性の低減のための予防対策

山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、流木や土石流、山腹崩壊の発生を抑制する**治山施設の整備**等による防災・減災対策を推進します。



流木対策(独立基礎型流木捕捉工)
(青森署：青森県外ヶ浜町)



土砂流出対策(溪間工)
(岩手南部署：岩手県西和賀町)



なだれ予防対策(スノーネット工)
(由利署：秋田県由利本荘市)

◆災害発生時の迅速な対応

■山地災害発生時の初動対応

山地災害が発生した（発生のおそれがある）場合には、早期に被害状況を把握するため、ヘリコプターによる上空からの調査に加え、地上からは国有林防災ボランティアの協力やドローン等も活用して効率的な調査を実施します。



ヘリコプターによる秋田県との合同調査



ドローンを活用した被災状況調査
(秋田署：秋田県秋田市)



国有林防災ボランティアによる林道の被災状況調査
(秋田署：秋田県秋田市)

■山地災害対策緊急展開チーム等の派遣

国有林、民有林にかかわらず大規模な山地災害が発生した際、国や地方公共団体等による山地災害等対策業務の迅速かつ円滑な実施を図るため、山地災害対策緊急展開チーム等を編成し、職員を県や市町村等に派遣します。



令和6年1月能登半島地震にかかる民有林被害箇所の現地調査
(石川県輪島市)

【被災した国有林林道の早期復旧】

令和5年7月の大雨の影響により、秋田県内を中心に国有林林道が甚大な被害を受け、各森林管理署等では、防災ボランティアからの協力も得て、迅速な被害状況の把握に努めました。

秋田県内の国有林林道では、222路線、608箇所被害を受け、そのうち29路線、72箇所については工事が必要であり、被災した林道の早期復旧に取り組んでいます。



職員による林道の被害状況調査
(米代西部署：秋田県藤里町)



林道の被害状況（谷地の沢林道）
(米代西部署：秋田県三種町)



林道の被害状況（仁別林道）
(秋田署：秋田県秋田市)

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

林業の生産性や安全性の抜本的な向上を図るため、**新技術の導入等**により伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「**新しい林業**」を目指す取組を展開します。

(1) イノベーションで、伐採→再造林保育の収支をプラス転換

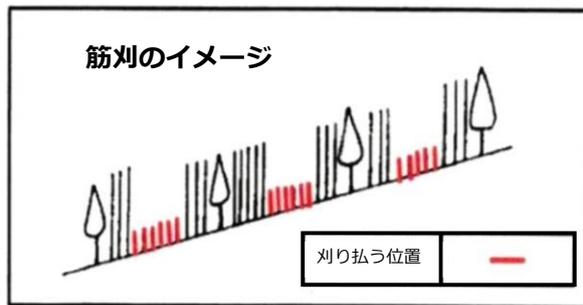
◆東北森林管理局新しい林業実行プラン（令和4年7月作成）

■筋刈の本格導入

従来、下刈は刈払面積100%の全刈で行ってきましたが、刈払面積70%の筋刈を導入することにより、ha当たりの下刈単価の縮減に取り組みます。



筋刈による刈払い
(宮城北部署：宮城県石巻市)



筋刈の実施

- R4：全署1箇所(712ha)
- R5：全下刈面積の25%以上(1,343ha)
- R6：全下刈面積の50%以上(2,145ha)

■一貫作業における大苗植栽の標準化

伐採時に使用した林業機械を地拵や苗木の運搬に活用するなど、**伐採から造林までの一貫作業を推進**しています。伐採・造林一貫作業との組合せにより**大苗を植栽**することで、下刈経費の縮減に取り組みます。



林業機械による造材作業
(秋田署：秋田県仙北市)



搬出に使用したフォワーダ
を活用した苗木の運搬
(青森署：青森県平内町)



スギコンテナ大苗
(苗長60cm～)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
①一貫作業件数	51件	48件	44件
②立木販売との混合契約件数	3件	4件	12件
①及び②における大苗植栽本数	136千本	108千本	286千本

※植栽本数は、翌年度春植栽分も含む

■ICT機器の活用

ドローンやウェアラブルカメラ、GNSSなどのICT機器を積極的に試行・運用し、**事業ベースでの利活用に向けた情報発信**に取り組みます。



ドローン研修
(局：秋田県秋田市)



治山現場との遠隔臨場による現場確認
(下北署：青森県風間浦村)

【特に効率的な施業を推進する森林】

「新しい林業」の実現に向け、水源涵養タイプの人工林のうち、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い森林98千haを令和5年度に「特に効率的な施業を推進する森林」に設定しました。

今後、当該森林を事業実施個所の選定に活用するとともに、当該森林において造林の省力化、低コスト化等の効率的な施業の実施、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及等に取り組みます。

■ 寒冷地型早生樹ユリノキの植栽

寒冷な東北地方でも良好な成長を示すユリノキについて、植栽試験地を新たに6箇所設定します。研究機関等からの調査協力を得つつ、植栽適地や育林技術の検証、需給調査を通じた東北産ユリノキの木材利用価値の評価を行い、**寒冷地型早生樹施業の確立**を目指します。



R5 設定植栽試験地
(下北署：青森県東通村)



伐採後旺盛に成長する萌芽枝
(青森県林業研究所樹木園)



岩手大学滝沢演習林の
ユリノキ (45年生当時)

ユリノキ植栽試験地 (R6 新規)

青森県鱒ヶ沢町
岩手県二戸市
宮城県大崎市、七ヶ宿町
秋田県由利本荘市
山形県小国町

■ 生産性向上実現プログラム

生産性の高い林業を確立するため、令和4年度を期首とする「生産性向上3か年計画」に基づき、林業事業体と連携し取り組みます。

令和6年度は、引き続き日報の作成と活用、情報共有と作業指示を徹底し、段取りの向上に取り組むほか、**航空レーザ測量情報の活用による搬出路の効率的な計画**に取り組めます。



プロセッサ造材
(下北署：青森県むつ市)



生産性向上中間会議
(米代西部署：秋田県男鹿市)

■ 収穫調査の効率化

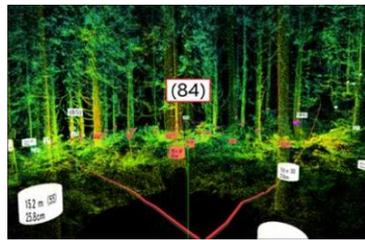
3Dレーザの活用や新たな調査方式の導入により、**収穫調査の効率化**を図ります。

● 3Dレーザの活用

全署1箇所以上で、3Dレーザを活用した収穫調査を行い、事業の発注等に取り組めます。



3Dレーザによる測定
(岩手北部署：八幡平市)



取得したデータで作成した
3次元点群表示

● 新たな調査手法の実証

事前踏査や区域表示の際に分散型標準地調査を行い、新たな手法としての効率性や精度の検証に取り組めます。



4mポールで50mの範囲測定
(秋田署：秋田県大仙市)



林分蓄積測定器による
蓄積把握
(秋田署：秋田県大仙市)

■ 路網の整備

それぞれの道の役割や自然条件、作業システム等に応じた適切な路網の整備を推進するとともに、災害時に代替路としての機能が発揮できる林道や排水施設の強化など、防災機能の強靱化に取り組めます。

● 代替路

災害時に孤立した集落が発生した際に、代替路となり得る林道の整備・強化に取り組めます。



代替路整備 (新設)
(三八上北署：青森県新郷村)

● 壊れにくい林道

防災機能の強化に向けた林道の開設・改良を推進するとともに、簡易な資材による低コストな施工技術の確立に取り組めます。



排水施設の強化
(山形署：山形県村山市)



東北式シート工法 (軸掘れ軽減対策)
(盛岡署：岩手県雫石町)

(2) 林業従事者の安全の確保

林業における労働災害は、長期的に減少傾向にありますが、他産業に比べて発生率が高い水準であります。

局署等においても、関係行政機関や関係団体と連携し**労働災害防止に係る情報の共有、連絡協議会の実施等**を推進します。

加えて、労働安全衛生の確保に関する法令等の遵守徹底を図るため、契約時における安全指導や現場巡視を行い、**発注者、契約者等の立場から安全対策を含め適切な指導**を行います。

特に、伐木作業の災害防止を重点とし、**安全な伐倒方法やかかり木処理の方法、保護具の着用等の安全対策**を確実に実施するよう取り組みます。

また、危険予知対策でもある**林業のヒヤリハット事例を共有し**、安全意識を高める取組を進めています。



(左から唐澤森林整備部長、市川労働基準部長)
岩手県内における林業労働災害の防止に関する連携協定の締結



林業事業者への安全指導
(上小阿仁支署：秋田県北秋田市)



労働災害防止協議会
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



伐木作業時における集団指導会
(林災防岩手県支部：岩手県滝沢市)

(3) 長期・持続的な林業経営体の育成

◆林業の担い手育成への協力

林業経営体が長期的・安定的な経営を行えるよう、**現地検討会を通じた先進的な技術の普及等**に取り組めます。また、将来の担い手の育成に向けて各県で取組が進められている**林業大学校等への講師の派遣やフィールドの提供等**を実施します。



林業事業者を対象とした広葉樹採材検討会
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



青い森林業アカデミーへのフィールド提供
(青森署：青森県青森市)

○ 管内林業大学校との連携体制

学校名	連携体制	窓口となる署
青い森林業アカデミー <研修センターに相当>	青い森づくりの推進に関する覚書	青森森林管理署
いわて林業アカデミー <研修センターに相当>	運営協議会に盛岡署が参画	盛岡森林管理署
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ <研修センターに相当>	みやぎ林業イノベーション推進に関する覚書	仙台森林管理署
秋田県林業トップランナー研修 (通称：秋田林業大学校) <研修センターに相当>	秋田を元気にする緑の覚書	秋田森林管理署
東北農林専門職大学	やまがた森林ノミクスの推進に関する覚書	最上支署
山形県立農林大学校 <専門職大学の付属校、専修学校に相当>		

◆ 民有林への技術支援

■ 森林総合監理士等による民有林行政の支援等

市町村が中心となる森林経営管理制度を後押しするため、**森林総合監理士等を育成**しつつ、県と連携して、**市町村森林整備計画の策定に対する技術的支援**を行います。また、経営管理実施権の設定を受ける事業者の選定委員会への参画、集積計画の作成に当たっての**伐採区域の設定や作業道等の路網の選定への助言**、**森林環境譲与税の情報提供**などにも積極的に取り組みます。

さらに、国有林職員の研修への市町村林務担当職員等の受け入れを行うほか、森林官等が**国有林や事業地へ市町村職員を案内**し、森林の見方や事業の監督・検査業務を紹介するなど、市町村職員の基礎的なスキルアップに協力します。



森林経営管理制度市町村職員研修会
(青森署：青森県青森市)



市町村等を対象とした林分評価技術向上のための現地検討会
(久慈支署：岩手県久慈市)



間伐及び森林の多様性発揮のための現地見学
(宮城北部署：宮城県大和町)

■ 林業技術の紹介

各森林管理署等で開催する現地検討会へ市町村職員や林業事業者を受け入れるなど、森林施業の低コスト化等に繋がる**新たな林業技術を紹介**します。



3Dレーザスキャナを活用した森林調査
(置賜署：山形県小国町)



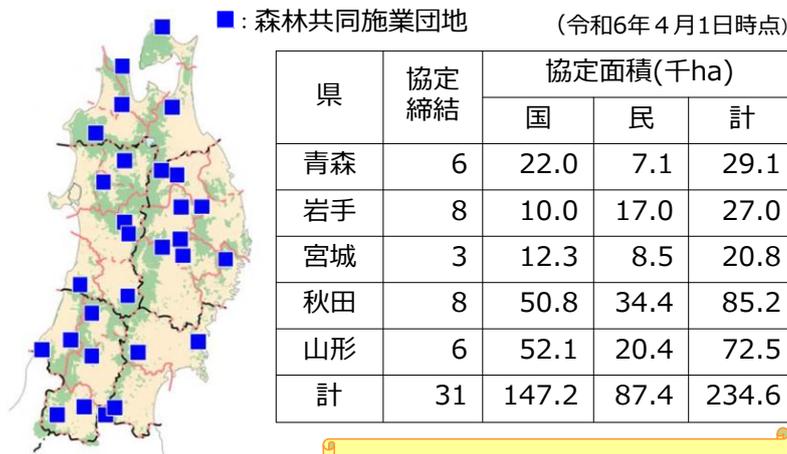
低コスト造林「早生樹を導入」
(仙台署：宮城県七ヶ宿町)

■ 森林整備推進協定の締結

民有林と森林共同施業団地を設定し、**民国連携した林業専用道の整備、路網・土場の相互利用**に取り組みます。また、ロットを確保して民有林材を補充し、有利販売となるよう、**協調出荷**に取り組みます。

■ 民有林と共同で行うレーザ計測

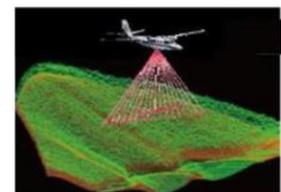
民有林と連携して、航空レーザを活用した**森林資源の把握**や**国有林情報も含めた森林クラウド整備**に取り組みます。



H28 : 24件 → R6 : 31件

自治体との共同実施

R5実績：青森県内 3 町村
岩手県内 5 市町
山形県
山形県内 2 町
→R6 予定：岩手県内 3 市町
山形県



3 木材産業の国際＋地場競争力の強化

◆国産材の安定供給

国産材需要の動向、民有林からの供給など、**地域ごとの状況を踏まえ、国有林材を供給**します。製材工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、安定的に木材を供給する「**安定供給システム販売**」を推進しています。また、間伐などにより得られる木材を安定的に供給する体制を整え、地域の活性化に貢献していきます。



木材生産の様子



土場から木材を運搬



トレーラーへの効率的積込や丸太の大量保管ができるストックヤード
(岩手北部署：岩手県八幡平市)

製品生産システム販売	R 5 年度 (実績)	R 6 年度
材積	289千m ³	589千m ³

◆東北森林管理局における高品質ブランド材の供給

管内の地域ごとの優れた森林資源を有効に活用するため、素材生産事業において出材される優良材を、**天然林国有林高品質材**及び**高齢級国有林高品質材**として、**地域ごとに新たなブランド化を推進**します。また、原木市場の関係者等を通じて需要動向や情報収集を行い、需要者のニーズを踏まえた採材を実施します。



Ⓣ(天) 青森ヒバ



Ⓣ(天) 青森ヒバ、Ⓣ(天) 広葉樹



Ⓣ(高) 秋田杉



Ⓣ(高) 前森スギ

R6.2月末時点

ブランド	R 4 出荷材積	R 5 出荷材積
Ⓣ(天) 青森ヒバ	238m ³	114m ³
Ⓣ(天) 南部アカマツ	1m ³	—
Ⓣ(天) 広葉樹	128m ³	158m ³

R6.2月末時点

ブランド	R 4 出荷材積	R 5 出荷材積
Ⓣ(高) 秋田杉	567m ³	666m ³
Ⓣ(高) 前森スギ	55m ³	123m ³

【樹木採取権制度の運用による木材供給】

現行の入札を基本としつつ、国有林の一定の区域（樹木採取区）において立木を一定期間、安定的に採取する権利を民間事業者を設定できる**樹木採取権制度を活用**し、安定的な事業量を確保することで森林経営管理制度の要となる林業経営者の育成を推進します。

名称	樹種	区域面積 (ha)	採取可能面積 (ha)	採取実績 (ha)	存続期間
東北1大曲・船岡樹木採取区	スギ、その他広葉樹	190.74	118.52	23.38	R4.2.18～R12.2.17
東北2田子地区樹木採取区	スギ、カラマツ、アカマツ、その他広葉樹	289.87	143.01	6.01	R4.3.16～R12.3.15

※現行の国有林の伐採ルールを厳守。伐採跡地の植栽は樹木採取権者への請負により、国が行う。



機械地拵による一貫作業の様子
東北1大曲・船岡樹木採取区

4 都市等における「第2の森林」づくり

◆事業や庁舎等への木材利用

再生可能な資源である木材の利用は、炭素の貯蔵や資材の製造・加工時の二酸化炭素の排出削減により、地球温暖化の防止にも貢献しています。東北森林管理局では、**治山や林道の土木構造物、庁舎等への木材の利用**を推進します。



治山事業への木材の利用
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



林道事業への木材の利用
(米代西部署：秋田県能代市)



CLTを使用した深浦森林事務所の車庫
(津軽署：青森県深浦町)

区分	R 5年度	R 6年度
庁舎等竣工件数	1	2

◆消耗品等への木材利用

間伐材チップを活用したコピー用紙、封筒等の調達や、「脱プラスチックは会議のお茶から」として、**カートカン**（カップやストロー無しでも飲める紙製飲料缶。国産材チップを活用）の調達等を進めています。



コピー用紙



名刺、封筒



ファイル、ノート



カートカン

【高品質ブランド材の製品製作】 東北森林管理局×ORAeアキタファニチャー

森と木の国秋田から、木に囲まれた心豊かな暮らしを彩る木工製品を日本全国、世界へ発信する「ORAe（おらエ）」。

東北森林管理局では、ORAe協力のもと、新たなブランド材「**高国**秋田杉」をより身近に感じていただける小物類や家具製品を試作しました。

今後は、庁舎ロビーにて展示を行うなど、高品質ブランド材から生まれた美しい製品を広く紹介していきます。

※ORAe（おらエ）は秋田の方言で「おら家」、我が家。
秋田県の優秀な作り手が集まり多彩な木工製品を、日本全国、そして世界の「我が家」へ発信するプロジェクトを進めています。



イスや飾り棚



展示会出展



高国秋田杉を使用した家具

5 新たな山村価値の創造

森林サービス産業の推進

健康、観光、教育など様々な分野で森林空間を活用する「**森林サービス産業**」を推進します。

◆レクリエーションの森

国有林野を広く活用してもらう目的で、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として設定しています。

自然休養林 【11箇所 12,571ha】

特に風景が美しく、保健休養に適している森林です。自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなど複合的に楽しむことができます。

自然観察教育林 【27箇所 6,713ha】

自然の変化に富み、自然観察学習に適している森林です。野生動植物の観察や森林の働きなどを学ぶことができます。

森林スポーツ林 【5箇所 260ha】

森林とふれあうアウトドアスポーツを楽しむ森林です。キャンプ、サイクリングなどで自然を体感できます。

野外スポーツ地域 【38箇所 11,262ha】

スキー場や宿泊施設などが一体となった地域です。雄大な自然の中で、爽快な汗を流すことができます。

風景林 【34箇所 9,852ha】

名所、旧跡等と一体になって景勝地を形成している森林です。森林の雄大な眺望と地域の歴史を感じることができる森林です。

風致探勝林 【3箇所 123ha】

山岳、湖沼、渓谷等が一体となった美しい自然景観の探勝を楽しむ森林で、遊歩道等を利用して、様々な樹木、四季折々の自然の織りなす彩りを味わえます。

R5.4.1時点



眺望山自然休養林
(青森署：青森県青森市)



平滝自然観察教育林
(米代東部署：秋田県大館市)



与蔵沼風景林
(最上支署：山形県鮭川村)

日本美しい森 お薦め国有林

林野庁では、「レクリエーションの森」の中から特に訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として全国93箇所を選定し、重点的な施設整備や情報発信に取り組んでいます。
 東北森林管理局管内では、**11箇所**を選定しています。



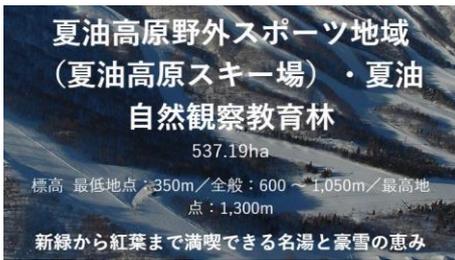
津軽署



岩手北部署



三陸中部署



岩手南部署



秋田署



由利署



庄内署



山形署



山形署



山形署



置賜署



英語版webページ

「レクリエーションの森」、「日本美しい森 お薦め国有林」は下記でご紹介しています

○レクリエーションの森

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/management/hozen/rec_mori.html



○日本美しい森 お薦め国有林

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html



◆森林散策

森林の中を歩くことは、気分のリフレッシュになるだけでなく、運動不足の解消や筋力の維持など、健康づくりにも役立ちます。最近では、アルファピネンのような針葉樹から多く発散される森林揮発性物質を嗅ぐことによって、認知症予防効果が期待されるなど、新たな研究も進んでいます。国有林の中から、**スニーカーなど比較的軽装で散策を楽しめる箇所を24箇所**厳選し、**森呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK**としてホームページ等で紹介しています。



〈管内の散策スポット〉

青森県	5箇所
岩手県	7箇所
宮城県	2箇所
秋田県	6箇所
山形県	4箇所



森呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK はこちらで紹介しています



◆森林環境教育の推進

森林管理署等では、国有林野を「国民の森林」と位置づけ、森林環境教育の実践の場として利用されるよう、**プログラムの整備**や**フィールドの提供**等に積極的に取り組んでいます。



保育園児の木育
(米代東部署：秋田県大館市)



小学生の森林教室
(久慈支署：岩手県洋野町)



小学生の植樹体験
(置賜署：山形県小国町)



小学生の林業体験
(津軽白神センター：青森県鯉ヶ沢町)

【カードゲーム「ZORING」】

三陸中部森林管理署では、森林づくりについて楽しく学んでもらいたいとの思いから、造林カードゲーム「ZORING (ゾーリン)」を考案、製作し、地元中学生への体験林業活動等に取り入れました。

カードゲームを通じ、楽しみながら地拵・植付から主伐までの一連の流れを理解することができることから、大きな反響をいただいております。今後は、局内外への普及を推進します。



地元中学生への森林環境学習 (岩手県大船渡市)

6 その他の取組

国民共通の財産である国有林野の管理経営に当たっては、国有林野を「国民の森林」として位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進しています。多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を活かしながら、国民のニーズを踏まえた様々な取組を行っています。

◆国民参加の森林づくり

国民に開かれた国有林野の管理経営のため、自ら森林づくりに参加したいという国民の要請も踏まえ、森林管理署等と地方公共団体、NPO等が協定を結び、**国有林野を森林づくりフィールドとして提供**しています。また、技術指導や助言、講師の派遣等の支援を行っています。

ふれあいの森

【14箇所 66ha】

自主的な森林づくり活動

社会貢献の森

【50箇所 23ha】

企業の社会的責任（CSR）活動などを目的とした森林づくり活動

木の文化を支える森

【5箇所 35ha】

地域の伝統文化などの継承に貢献するための国民参加による森林づくり活動

遊々の森

【46箇所 2,064ha】

森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動

多様な活動の森

【3箇所 17ha】

森林保全を目的とした森林パトロール、美化活動

モデルプロジェクトの森

【1箇所 490ha】

地域や森林の特色を活かした森林管理の実施を目的とした森林整備・保全活動 R6.3.22時点



社会貢献の森での植樹活動
(青森署：青森県青森市)



ふれあいの森での植樹活動
(三八上北署：青森県十和田市)



遊々の森での林内創作活動
(秋田署：秋田県仙北市)



遊々の森での植樹活動
(庄内署：山形県鶴岡市)

◆分収造林の推進

社会奉仕や資材の安定確保等を目的として、森林づくりに取り組みたいとする企業や素材生産事業体等に対して、**分収造林制度の活用**を促します。また、再造林の気運を盛り上げるとともに、カーボンニュートラルの実現にも資するため、新たに契約を締結した企業等に対して**感謝状を贈呈**し、PRを図ります。



感謝状



漆の分収造林地
(岩手北部署：岩手県二戸市)

◆国有林モニター

国民の要請を的確に把握し、これを反映した国有林野の管理経営を推進するため、**一般公募により「国有林モニター」を依頼**しています。国有林モニターには、毎月の資料による情報提供や現地見学会への参加等を通じて理解を深めていただいています。



現地見学会でのコンテナ苗植栽体験
(宮城北部署：宮城県東松島市)



国有林モニター会議
(秋田県秋田市)

Ⅲ 令和6年度の取組

1 主要事業量

(1) 東北森林管理局計

区 分		令和6年度	令和5年度	前年度比 (%)
伐採量 (千m ³)	合 計	5,061	4,920	103%
	(主 伐)	3,254	3,283	99%
	(間 伐)	1,807	1,638	110%
木材供給量 (千m ³)	立木販売量	2,834	2,801	101%
	製品販売量	976	912	107%
	(青森ヒバ)	5.1	7.4	69%
	(スギ)	430.1	416.8	103%
	(カラマツ)	62.4	61.4	102%
	(その他針葉樹)	20.4	19.2	106%
	(針葉樹低質材)	399.7	360.2	111%
	(広葉樹)	1.0	1.2	83%
	(広葉樹低質材)	57.3	45.9	125%
更新量 (ha)	新 植	1,599	1,627	98%
保育量 (ha)	下 刈	5,424	5,834	93%
	つる切・除伐	1,535	1,748	88%
	保育間伐・本数調整伐	12,347	11,277	109%
路網整備 (km)	林道新設	13.3	25.4	52%
治山事業費 (百万円)	合 計	7,106	7,680	93%
	(民有林直轄)	1,325	1,419	93%

(注)

- ①各事業量は当初予定の事業量で、前年度からの繰越事業量を含む。
- ②立木販売量は、立木材積である。
- ③製品販売量の青森ヒバ、広葉樹は、一般材の生産予定量である。
- ④四捨五入のため、計が一致しないものがある。

(2) 県別内訳

区 分		令和6年度					令和5年度				
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	青森	岩手	宮城	秋田	山形
伐採量 (千m ³)	合 計	1,555	1,120	385	1,330	673	1,559	1,019	320	1,355	669
	(主伐)	1,113	564	244	847	485	1,167	570	182	854	509
	(間伐)	441	555	140	482	188	391	449	138	501	159
木材 供給量 (千m ³)	立木販売量	1,024	475	220	693	422	1,016	453	179	720	432
	製品販売量	255	255	73	285	109	259	222	37	285	109
更新量 (ha)	新 植	497	400	125	413	164	389	464	134	417	224
保育量 (ha)	下 刈	1,259	1,341	540	1,524	760	1,326	1,406	608	1,613	880
	つる切 ・除伐	369	356	135	470	206	406	369	217	468	289
	保育間伐・ 本数調整伐	2,899	4,015	986	3,404	1,043	2,590	3,146	1,135	3,308	1,098
路網整備 (km)	林道新設	3	4	2	1	4	5.7	8.0	3.5	4.7	3.4
治山 事業費 (百万円)	合 計	1,345	1,508	489	2,019	1,745	3,458	712	679	771	641
	(民有林 直轄)	-	644	-	-	680	-	584	-	-	835

(注)

- ①各事業量は当初予定の事業量で、前年度からの繰越事業量を含む。
- ②立木販売量は、立木材積である。
- ③四捨五入のため、計が一致しないものがある。

2 県別重点取組

(1) 青森県における東北森林管理局の重点取組

森林整備・治山対策による国土強靱化

山地災害が発生した場合は、県及び地元市町村との連携を図りながら、**被害状況の確認、早期復旧に努めます。**



R5. 7月の大雨後の上空からの状況確認
(津軽署：青森県深浦町)



R3.8月の大雨による災害の復旧状況
(下北署：青森県風間浦村)



R4.8月の大雨による災害の復旧状況
(青森署：青森県外ヶ浜町)



R4.8月の大雨による災害の復旧状況
(津軽署：青森県深浦町)



R3.8月の大雨による災害の復旧状況
(三八上北署：青森県七戸町)

病虫獣害対策の推進

松くい虫、ナラ枯れ被害の拡大防止や、ツキノワグマによる剥皮被害抑止に取り組みます。



ドローンを活用した松くい虫被害調査
(三八上北署：青森県南部町)



ナラ枯れ被害対策(伐倒くん蒸)
(金木支署：青森県中泊町)



ツキノワグマによる剥皮被害対策
(下北署：青森県むつ市)

林業の担い手育成への協力

青い森林業アカデミー第四期生に対し、**実習フィールド提供**及び**講師派遣**など、林業技術者の育成支援に努めます。

また、高校生や大学生を対象としたインターンシップを実施します。



青森ヒバ等について講義

青い森林業アカデミーへの講師派遣
(青森署：青森県平内町)



高性能林業機械による伐木造材の実演

青い森林業アカデミーへの実習フィールド提供
(青森署：青森県蓬田村)



コンテナ苗の植栽実習

高校生を対象としたインターンシップ
(金木支署：青森県五所川原市)

「新しい林業」に向けた取組の展開

伐採までの期間が短くトータルコストを下げられる早生樹や、機械化による下刈作業の省力化等、林業の低コスト化に向けた技術開発の取組を実施します。



ユリノキ

伐根からの萌芽

※(地独)青森県産業技術センター林業研究所樹木園にて撮影。

立木からの萌芽(※)

早生樹(ユリノキ)
(青森県平内町)



下刈経費の軽減に資する大苗の植栽
(青森署：青森県平内町)



筋刈りによる下刈り面積の省略
(津軽署：青森県平川市)

森林環境教育の推進

森林の役割や大切さ等の理解を深めてもらうため、地元小・中学生等を対象に**森林環境教育**、**林業体験活動**等を実施します。



葉っぱ探し

小学生を対象とした森林教室
(津軽署・白神センター：青森県深浦町)



小学生を対象とした森林教室
(下北署：青森県むつ市)



ヒバの空中取り木苗体験

小学生を対象とした森林教室
(金木支署：青森県中泊町)

(2) 岩手県における東北森林管理局の重点取組

国産材の安定的供給や貴重な森林資源の供給

高品質広葉樹材の販売等により**高付加価値化**に取り組むとともにストックポイントの整備により輸送環境の改善をはかります。



広葉樹材 委託販売材
(三陸北部署：岩手県岩泉町)



ブランド材の販売
(岩手県矢巾町木材流通センター)

ナラ・ウダイカンバ等
(盛岡署 産地：岩手県雫石町)



タモ
(岩手北部署 産地：岩手県八幡平市)



カラマツ
(岩手北部署
産地：岩手県八幡平市)



鍋越山ストックポイント (岩手北部署：岩手県八幡平市)

病虫獣害対策の強化

ナラ枯れ、松くい虫防除対策により被害拡大防止に取り組みます。

また、シカによる造林木の被害を防止し、さらに貴重な自然環境を保全するために関係団体と協力し、小林式誘引捕獲法(くくりワナ)による捕獲や侵入防止策等の取組みを進めていきます。



小林式誘引捕獲法(くくりワナ)の勉強会
(三陸北部署：岩手県宮古市)



シカ罠による捕獲
(三陸中部署：岩手県大船渡市)



ドローンによる被害木確認
(久慈支署：岩手県久慈市)



早池峰地域シカ柵設置
(遠野支署：岩手県遠野市)



幼齢木保護チューブ設置
(遠野支署：岩手県遠野市)



民有林との合同
ナラ枯れ調査
(岩手南部署：
岩手県金ヶ崎町)



ナラ枯れ被害木くん蒸処理
(久慈支署：岩手県久慈市)

技術の向上や人材育成への支援

意見交換や勉強会等を開催し、民国連携して林業技術の向上や安全作業に努めるとともに、林業の担い手育成の協力を進めていきます。



労働災害防止協議会
(久慈支署：岩手県久慈市)



いわて林業アカデミー生への
国有林野事業の説明
(盛岡署：岩手県雫石町)



ICT機器検討会
(久慈支署：岩手県久慈市)



自治体・事業者参加のQGIS勉強会
(三陸北部署：岩手県古市)

森林環境教育・職場体験

森林環境教育等を通して森林・林業の魅力を伝えます。



小学生への森林教室
(久慈支署：岩手県洋野町)



カードゲームを使用した
中学生への森林教室
(三陸中部署：岩手県大船渡市)



小学校への森林教室
(岩手北部署：岩手県八幡平市)



職場体験プログラム受け入れ
(盛岡署：岩手県岩手町)

ゾーリン ZORING

カードゲームを通じて森林づくりを学ぼう

『ZORING(ゾーリン)』は森林づくりを遊びながら学べる対戦型カードゲーム。事業カードで森林づくりを進め、被害カードで相手を妨害し、対策カードで被害を食い止めながら、高得点を狙おう！

『ZORING』の由来
造林(ZORIN) + している(ING)

ワンゲーム
15分～20分
2回目からはさらに楽しく！

森林づくりはゲームの前に軽く説明！ルールも丁寧に解説します。

お問い合わせ
三陸中部森林管理署
住所：岩手県大船渡市盛岡字津野沢7-5
電話番号：0192-26-2161
E-mail：t_sanrikucyubu@maff.go.jp

ZORINGは岩手日報(2023.9.18)・東海新報(2023.9.15)に掲載されました。

職員考案のカードゲーム「ZORING(ゾーリン)」

新しい林業に向けた取り組み

大苗の導入及び、筋刈下刈り作業による低コスト化を進めます。カラマツの特定母樹(エリートツリー)の普及を進めます。



大苗植え付け状況
(三陸中部署：岩手県釜石市)



(岩手北部署：岩手県二戸市)

筋刈実行状況



(岩手南部署：岩手県平泉町)



いわて林業アカデミー生による特定母樹植付け
(岩手南部署：岩手県一関市)

(3) 宮城県における東北森林管理局の重点目標

花粉発生源対策の推進

スギ花粉症対策として、発生源となる人工林の更新にあたり、スギ苗木については花粉の少ない苗木の積極的な導入、又は、スギ以外の樹種に植え替えるなど花粉発生源対策を推進します。



宮城県産少花粉スギ苗木
(仙台署：宮城県仙台市)



少花粉スギ植栽箇所
(仙台署：宮城県仙台市)



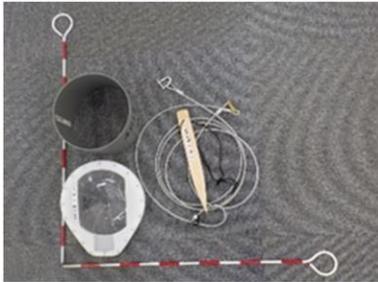
カラマツ植栽箇所
(宮城北部署：宮城県南三陸町)

二ホンジカ対策の実施・支援の取組

二ホンジカは、年々生息域が拡大し、それに伴い農林業被害も依然として発生し続けている状況にあり、被害の軽減を図るためには捕獲による生息頭数の調整が最も重要となります。

そのため国有林では、地元市町村や二ホンジカ対策協議会等と協定を締結し、ワナの貸出等の支援を行います。

また、国有林の植栽箇所では食害対策剤の散布等の対策を実施し、健全な森林の育成に取り組めます。



貸出するワナ（くくりワナ）



石巻市と合同での民有林防鹿柵施設作業
(宮城北部署：宮城県石巻市)



シカ食害対策剤散布作業
【カラマツ植栽箇所】
(宮城北部署：宮城県登米市)

民国連携と人材育成への取組

民有林と国有林が連携して**魅力ある林業の実現、持続的な林業・木材産業の発展**に向けて取り組めます。また、林業従事者を育成し、**次世代を担う人材の確保**に努めます。具体的には、「みやぎ林業イノベーション推進に関する覚書」に基づき、宮城県、みやぎ森林・林業未来創造機構、林業事業者等と連携して取り組めます。



みやぎ森林・林業未来創造機構カレッジ
【オープンカレッジでの講演】
(仙台署：宮城県大衡村)



林業事業者主催の安全講習会への講師派遣
(宮城北部署：宮城県大衡村)



宮城大学への講師派遣
「森林・林業と木材産業の現状と課題」
(仙台署：宮城県大和町)

「新しい林業」に向けた取組

国有林の森林整備事業箇所並びに試験地として設定している箇所等を利用し、林業関係機関や関係団体・事業者等に**技術の普及・情報提供**を図ることで、**施業の効率化や低コスト化**を進めます。



R5下刈省力化現地検討会
(宮城北部署：宮城県大和町)



採材現地検討会
(宮城北部署：宮城県大和町)



R5低コスト造林「早生樹の導入」現地検討会
(仙台署：宮城県七ヶ宿町)

地域材の販売・地域材の利用

管内における優れた森林資源を有効に活用するため、素材生産事業等で出材される一定の規格を満たした丸太を国有林高品質材を、**天(国)広葉樹**と規定し、高付加価値化と利用促進を強化します。

また、**林道・治山施設や庁舎等の公共施設**において再生可能な資源である木材を利用するとともに、地域と連携して**CLT等の新たな木材の利用・普及**を推進します。



ミズメ等優良材
(仙台署：宮城県仙台市)



治山施設での木材使用事例
【木製残存型柵(山腹工)】
(宮城北部署：宮城県栗原市)



林道施設での木材使用事例
【丸太柵工(林道のり面)】
(宮城北部署：宮城県石巻市)



庁舎等への木材利用：宮城北部署気仙沼森林事務所庁舎
(宮城北部署：宮城県気仙沼市)



宮城北部署1階のペレットストーブ
(宮城北部署：宮城県大崎市)

災害対応・支援・復旧・復興の取組

異常気象による自然災害が多発する傾向にある中、早期復旧を図る必要から、**被災状況の調査と対策について迅速に対応**します。また、復興のための活動については、**関係機関、地域住民等と連携**して取り組みます。



自然災害発生時のヘリによる状況調査
(R1東日本台風：宮城県丸森町)

(4) 秋田県における東北森林管理局の重点取組

国産材の安定供給・高齢級秋田杉のブランド化

秋田県の伝統工芸品などのモノづくりを行う地域産業の振興を図るため、秋田県内の民有林と国有林から出材される優れた品質を有する高齢級秋田杉を民国連携ブランド「あきたの極上品」として計画的に生産・販売し、民有林への普及に取り組みます。また、素材生産事業で出材される高品質材の中から一定の規格を満たした優良材を(高)国秋田杉、(天)国広葉樹等と規定し、国有林材の高付加価値を強化するとともにブランド化を推進していきます。



市場に出品された(高)国秋田杉
(米代東部署：福島県伊達市)



市場に出品された あきたの極上品
(秋田署：秋田県秋田市)



市場に出品された(高)国秋田杉
(上小阿仁支署：秋田県秋田市)

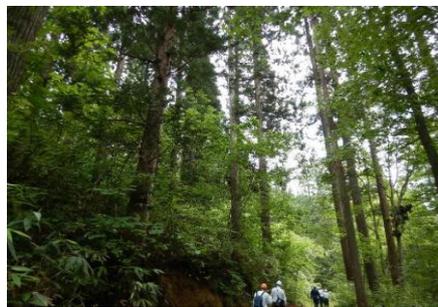
秋田スギ美林誘導プロジェクト

日本三大美林と謳われる秋田スギの新たな美林を増やすため、米代川流域にある高齢級秋田スギの人工林のうち、優良な林分を美林に誘導する取組を令和5年度より開始し、美林誘導林分として5箇所を選定しました。

引き続き、美林に誘導する林分の選定を行い、現地確認のうえ必要に応じて美林に誘導するための施業を試行します。



美林へ誘導する林分
(米代東部署：秋田県北秋田市)



美林へ誘導する林分
(上小阿仁支署：秋田県上小阿仁村)



美林へ誘導する林分
(米代西部署：秋田県能代市)

「新しい林業」に向けた取組の展開

伐採から造林までの一貫作業における大苗植栽の標準化を推進するとともに、従来の全刈から筋刈の導入・拡大による下刈単価の軽減、また、下刈回数の低減や作業期間の延長による軽労化などにも取り組みます。



筋刈による下刈の省力化
(湯沢支署：秋田県湯沢市)



筋刈による下刈の省力化
(由利署：秋田県にかほ市)



ドローンによる苗木運搬
(米代西部署：秋田県能代市)

R5.7豪雨災害への取組

豪雨災害発生時は、**県及び地元市町村との連携**を切り被害状況に応じ応急対応策を進め、**地元の声にも耳を傾けながら、早期復旧に努めます。**



仁別林道（至 仁別森林博物館・旭又登山道入口）の被災状況
（秋田署：秋田県秋田市仁別）



仁別林道被災箇所位置
（秋田署：秋田県秋田市仁別）

森林資源の適正な管理

ナラ枯れ被害、松くい虫被害対策に取り組みます。
 ナラ枯れ被害対策については、従来から実施している伐倒くん蒸や樹幹注入などの防除対策に加え、**「おとり丸太法」を実施**します。
 松くい虫被害対策では、「風の松原」をはじめとする日本海沿岸の松林を保全するため、**県と連携し薬剤散布等**の松くい虫防除対策を進めます。
 また、保護活動に取り組む**市民ボランティアの活動を支援**します。



おとり丸太現地調査会
（湯沢支署：秋田県湯沢市）



クロマツへ予防薬剤樹幹注入
（米代西部署：秋田県能代市）



松くい虫被害対策（薬剤散布）
（由利署：秋田県由利本荘市）

森林環境教育の推進

地域の学校や教育機関等と連携し、**国有林野の豊かなフィールドを子供たちに提供する**とともに、森林教室や職場体験学習、未就学児童を対象とした木育等の**森林環境教育を積極的に取り組み**ます。



保育施設での木育教室
（米代東部署：秋田県大館市）



中学生を対象とした森林環境教育
（藤里センター：秋田県藤里町）



高校生林業体験
（由利署：秋田県由利本荘市）

(5) 山形県における東北森林管理局の重点取組

樹氷とオオシラビソ林再生に向け稚樹の移植を加速化

蔵王山地蔵岳山頂付近の樹氷とオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）林の再生を促進するため、**樹氷復活県民会議と密接に連携**し、稚樹の移植など各種取組・調査等のフィールドの提供・支援を進めます。また、被害箇所とその周辺におけるトウヒツツリヒメハマキ及びトドマツノキクイムシの生息状況をモニタリングしてまいります。



樹氷復活県民会議へ参画し取組を報告
(山形署：山形県山形市)



地元小中学生による自生稚樹の移植を支援
(山形署：山形県山形市)



トドマツノキクイムシ被害状況の把握調査
(山形署：山形県上市市)

庄内海岸防災林等における松くい虫被害対策

松くい虫被害の防止に向け、引き続き民有林と連携して予防対策や早期発見・早期駆除に取り組みます。具体的には、以下の3点について取り組みます。

1. 予防対策：樹幹注入、地上散布（薬剤散布）の継続
2. 地域との情報共有：情報共有、課題解決
3. 被害対策：地上散布を実施するための海岸作業道の補修（砂の浚渫）を実施



予防対策【地上散布】
(庄内署：山形県酒田市)



地域との情報共有
【松くい虫被害対策強化PT会議】
(庄内署：山形県遊佐町庁舎)



被害対策
【海岸作業道の補修】
(庄内署：山形県鶴岡市湯野浜)

東北農林専門職大学及び附属農林大学校との連携

今年度開学した東北農林専門職大学と**人材育成に関する連携協定**を結び、調査・研究フィールドの提供を予定しています。

また、附属農林大学校において、国有林の森林・林業に関する取組を情報提供するとともに、国有林で開催される各種検討会に参加していただき、**現場業務の研修**を行っています。



調査・研究フィールド予定地調査
(最上支署：山形県真室川町)



附属農林大学校での講義
(最上支署：山形県新庄市)



附属農林大学校生の採材検討会への参加
(最上支署：山形県最上町)

高齢級国有林高品質材(高国)前森スギの供給

真室川町前森山国有林から出材される80年生を超える高齢級大径材から、6m以上の大径長尺材の供給を開始しており、大型建築物の梁や柱などの構造材として利用されています。今後も、毎年一定量の長尺材を安定供給することにより、**スギ大径長尺材の供給拠点**を目指すとともに、大径材の利用促進に関する取組を推進します。



前森スギ伐倒
(最上支署：山形県真室川町)



8m以上の丸太の状況
(最上支署：山形県真室川町)



市場での販売状況
(最上支署：山形県天童市)

ツキノワグマによる剥皮被害対策

ツキノワグマによるスギ等の樹皮剥ぎ被害が山形県置賜地域を中心に拡大しています。このため、**防除対策を実施**するとともに、置賜森林病虫害獣協議会と連携して、効果的な防除対策を普及する**研修会の実施**や、**被害木の利用方法の検討**等に関係者とともに進めていきます。



クマ剥ぎ被害対策研修会
(置賜署：山形県高畠町)



被害対策検討会(ワークショップ)
(置賜署：山形県飯豊町)

朝日山地における生態系保全管理の取組

朝日山地森林生態系保護地域の生態系を守るため、森林病虫害の監視と外来種問題の普及啓発活動を実施します。

「特定外来生物」である**オオハンゴンソウの防除**を関係団体と協力し、適期に行います。

大朝日岳で確認されている、マツノクロホシハバチによる**ハイマツ食葉被害の監視と防除**を継続します。



オオハンゴンソウを根から掘り取る
(朝日センター：山形県朝日町)

新しい林業に向けた取組の展開

県内各(支)署において、新しい林業実行プランに定める各種取組を展開していきます。

①下刈作業を全面積刈る全刈で実施していたものを、刈払い面積を減らした筋刈に切り替えて**下刈作業を省力化**する取組を進めていきます。

②寒冷地型早生樹施業を確立するため、寒冷地でも良好な成長を示すユリノキの植栽試験地を設け、**植栽適地や育林技術の検証**などを行っていきます。



下刈省力化現地検討会の開催
(置賜署：山形県小国町)



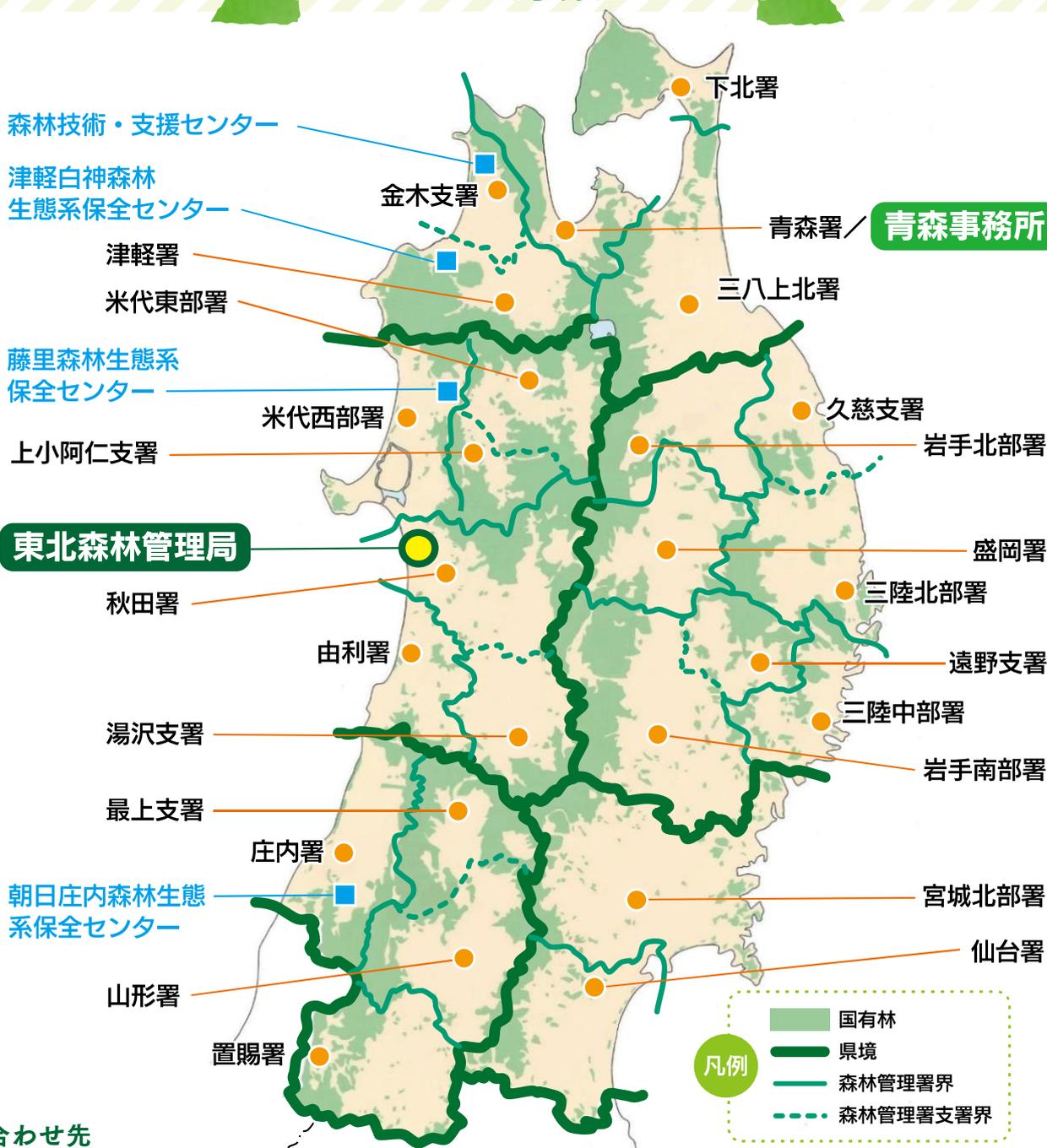
管内森林組合主催の多目的造林機械実演会の様子(置賜署：山形県飯豊町)



ユリノキ植栽現地検討会の開催
(庄内署：山形県鶴岡市)

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311			
岩手県	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	山形県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001		米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511					

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



局HP

